

令和8年度丹波地域

# ひょうご防災リーダー養成講座

**日程** 7月11日(土)、8月8日(土)、8月29日(土)、9月6日(日)

**会場** 兵庫県立丹波の森公苑 多目的ルーム  
兵庫県丹波市柏原町柏原5600

**対象** 兵庫県在住・在勤・在学で現在又は今後、自主防災組織で活躍され、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとされる方。

※中学生は保護者同伴の場合、申込可能です。なお、小学生以下は申し込みができません。  
※過去にひょうご防災リーダー養成講座を修了した方はお申し込み、受講いただけません。

講座を修了すると ★「ひょうご防災リーダー」の称号  
★防災士の受験資格  
を得られます！

地域の安心はあなたの一步から

**申込期間** 令和8年4月24日(金)～6月5日(金)

下記URLまたは二次元コードより詳細を確認の上、  
サイト内の申し込みフォームよりお申し込みください

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tnk11/20260424.html>

※丹波篠山市、丹波市に在住・在勤・在学を優先のうえ、抽選します。



募集人数

**80名**

抽選

**受講料無料**

※ただし、防災士資格取得をご希望の方は、  
別途以下の費用が必要となります

- ①2026年度版防災士教本代 4,000円(税込)【防災士資格取得試験受験希望者】
- ②防災士資格取得試験受験料 3,000円(税込)【防災士資格取得試験受験希望者】
- ③防災士資格取得試験登録料 5,000円(税込)【防災士資格取得試験合格者】



**問い合わせ**

兵庫県丹波県民局県民躍動室総務防災課

〒669-3309 丹波市柏原町柏原688 TEL 0795-73-3721

# 令和8年度 丹波地域ひょうご防災リーダー養成講座 カリキュラム

講師等の都合により、講義日、講義内容、講義の順番を変更する場合があります。

回数	日付	時限	時間	講師	内容(昨年度の内容)
第1回	7月11日 (土)		9:20-9:30	開講式	
		1	9:30-10:40	国土館大学 教授 山崎 登 氏	災害情報・災害報道を防災に生かす
		2	10:50-12:00	神戸大学 名誉教授 室崎 益輝 氏	地域の防災リーダーに期待すること
		3	12:45-14:00	名古屋大学 名誉教授 福和 伸夫 氏	南海トラフ地震対策と防災庁
		4	14:10-15:25	神戸地方気象台 防災管理官 土井 ひかる 氏	自然災害から身を守るために ～防災気象情報とその効果的な活用について～
		5	15:35-16:50	関西大学 社会安全学部 教授 奥村 与志弘 氏	南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震 ー発生メカニズムと対策についてー
第2回	8月8日 (土)	1	9:20-10:35	インフォコム(株)サービスビジネス事業部 高橋 克彦 氏	事業継続計画
		2	10:45-12:00	関西大学 社会安全学部 教授 山崎 栄一 氏	被災者支援・災害時要援護者対策
		3	12:45-14:00	全国災害ボランティア支援機構 代表理事 高橋 守雄 氏	能登半島地震から見た災害ボランティアの現況 ～支援する人を支援する社会の醸成～
		4	14:10-15:25	政策研究大学院大学 客員教授 室田 哲男 氏	事例で学ぶ「自治体の災害初動対応」
		5	15:35-16:50	東京大学 生産技術研究所 准教授 沼田 宗純 氏	地域の自主防災組織における危機管理とタイムライン
第3回	8月29日 (土)	1	9:20-10:35	兵庫県立大学 環境人間学部 教授 木村 玲欧 氏	地域防災とその取組事例について
		2	10:45-12:00	関西大学 教授 小山 倫史 氏	土砂災害における早期警戒・避難に向けた 防災気象情報の活用
		3	12:45-14:00	兵庫県立大学 准教授 平井 敬 氏	地震災害のメカニズムと対策
		4	14:10-15:25	広域防災センター 職員	ワークショップ クロスロード
		5	15:35-16:50		
第4回	9月6日 (日)	1	9:20-10:35	国土防災技術(株) 齋田友理子氏、横山修氏、山田知瑛 里氏	いろいろな人の立場で考えよう 避難行動 訓練 (EVAG) 豪雨災害編
		2	10:45-12:00		
		3	12:45-14:00	神戸市看護大 教授 神原 咲子 氏	感染症を含む複合災害、避難生活と公衆衛生 変化する社会と健康リスク：防災士が知っておきたい視点
		4	14:10-15:25	東京大学大学院 教授 廣井 悠 氏	大規模災害時の複合災害における避難のあり方
			15:35-16:50	防災士資格取得試験	

## 修了要件

下記の3項目をすべて満たすこと

上記講義を  
12時限以上受講  
(ワークショップ連続2時限以上を含む)

履修確認  
レポートの提出

普通救命講習修了  
(各自で受講いただく必要があります)